

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月31日

計画の名称	清水町における公営住宅の整備（地域住宅計画）												
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	清水町												
計画の目標	老朽化した住宅の改善を行うことにより、安心で安全な住環境を確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	41	A	41	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	老朽化した住宅の安全性が整備された棟数 外壁改修を行うことにより、老朽化した住宅の安全性が向上した住棟の割合	H29 1棟		H33末 3棟

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	清水町	直接	清水町	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業	町営住宅個別改善	駿東郡清水町						41	-		
												小計						41		
												合計							41	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
評価委員会を設置し事後評価を実施した。 学識経験者1人 町職員5人 合計6人	第1回評価委員会 令和5年3月9日(木)
	公表の方法
	町ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した住宅の外壁改修を目標である3棟すべてを行うことができたことにより、町営住宅の安心で安全な住環境を確保することができた。 ・外壁塗材を建設当時に使用した塗材から対候性の高い塗材にしたことにより、ひび割れや水の侵入による劣化を遅らせることで、維持管理費の軽減や建物の耐久性を高めることができた。 ・外壁改修のために必要となる足場を活用することで、建物の劣化箇所を併せて改修したことにより、建物の老朽化対策を効率的に行うことができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した外壁の落下などを未然に防ぐことができ、居住者及び当該町営住宅周辺を歩行する人々などが安心して安全に通行できる環境を整備することができた。 ・外壁塗装をしたことにより、町営住宅周辺の地域のイメージが向上した。
特記事項(今後の方針等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に策定した「清水町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、引き続き長寿命化を図るため予防保全型の修繕を推進していく。 ・長寿命化を推進することで、町営住宅周辺の環境改善や景観の向上に貢献していく。 ・令和6年度に新たな長寿命化計画を策定していく。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	3棟
	最終実績値	3棟